

## 【実践報告】

# 学校栄養教育実習Ⅱの報告

広島文教女子大学人間科学部

人間栄養学科 准教授 藤井 紘子

## 1 はじめに

栄養教諭一種免許状の取得を希望する教職課程履修学生を対象とした教育実習は、授業科目「学校栄養教育実習Ⅱ」に含まれる。本実習は論としての修得すべき知識・技術に関する内容が中心となる小学校等での教育の現場で行うものであり、その目的は、栄養教諭としての使命感を自覚し、職務内容について理解を深め、教育に関する資質と栄養に関する専門性を育成することである。

## 2 実施のスケジュール

項目	時期	主な内容
事前学習 (学内)	4月～5月	<ul style="list-style-type: none"><li>・本実習の意義、目的、心構え等を再確認する。</li><li>・実習校への事前訪問により、指導教諭等の指導担当者から、担当となる学級の児童・生徒の実態や、食に関する指導の全体計画、実習の事前課題を確認する。</li><li>・実習校より出された課題について、模擬授業や給食指導、展示物の作成等を行う。作成物についてお互いに評価し合い、よりよい授業・教材になるよう工夫を重ねる。</li></ul>
本実習 5日間 (学外)	6月	<ul style="list-style-type: none"><li>・実習の内容は実習校により計画される。主な内容として、①指導教諭等からの学校・学級経営の説明、②児童及び生徒への個別的な相談、指導の実習、③児童及び生徒への教科・特別活動における指導の実習、④食に関する指導の連携・調整の実習が挙げられる。</li><li>・実習中は教育実習日誌等の記録をつけ、栄養教諭の役割・業務等について理解を深める。</li></ul>
事後学習 (学内)	6月～7月 9月 報告会は 9/30に実施	<ul style="list-style-type: none"><li>・各自の実習を振り返り、記録をまとめる。</li><li>・各自の実習内容についての報告会を実施する。報告会では、与えられた課題の取り組みを通して学んだことや研究授業の紹介等について発表する。</li></ul>

## 3 活動の概要

(1) 研究授業の主なテーマ等（学生の報告資料より抜粋）

テーマ	対象	ねらい	備考
やさいパワーを考えよう	2年生	野菜の名前や色、形などを知ることを通して、野菜の働きについて理解し、野菜を食べようとする意欲を高める。	学級活動

上手なおやつのとり方を知ろう	3年生	正しいおやつのとり方を知り，自らおやつのとり方を見直すことができる。	学級活動
朝ごはんを食べて元気になろう	4年生	朝ごはんの大切さを知り，毎日食べる意欲を持つようにする。	学級活動
正しいおやつを取り方を考えよう	4年生	正しいおやつを取り方を理解し，今後のおやつを取り方について考える。	学級活動
朝ごはんをレベルアップしよう	5年生	朝ごはんの役割と大切さを理解する。 栄養バランスのとれた朝ごはんについて考え，実践しようとする意欲をもつ。	学級活動

#### (2) 教育実習を通して学んだこと（学生の報告資料より抜粋）

- ・各学級に応じた授業を行うためには，児童の実態を把握しておくことが重要であることを改めて学んだ。また，同じ授業でも学級によって反応や発表内容が異なるため，統一的な進め方ではなく，各学級に合わせた対応により授業を進めていくことが大切であることを学んだ。
- ・具体的で充実した授業を行うためには，児童と積極的にコミュニケーションをとり，給食時間の様子を始め，普段の様子をしっかりと観察することが大切であることを学んだ。
- ・チームティーチング（T-T）で授業を行う場合には，事前に担任の先生と十分に打ち合わせを行うことが大切であることを実感した。
- ・授業中に児童の集中力を維持させるためには，児童の興味をひくような仕掛けや工夫をした教材を用いることが必要であることを学んだ。
- ・授業の時間配分を考える際は，児童が考えたり，発表したりする時間を十分確保する必要があることを学んだ。
- ・残食状況を把握し，残食を減らすための工夫を凝らすことも栄養教諭の重要な業務であると感じた。

## 4 成果と課題

効果的な教育を行うためには事前の実態把握が必要であることを学内での授業において知識としては修得していたが，現場の実習でこのことを実感した旨を実習後の感想に挙げる学生が多くみられた。このことから，学内の授業では伝えきれない部分が大きいと感じると同時に現場での実習で学生が修得してくるものの大きさと感じた。

今年度の本実習においては，大きな問題とはなっていないものの，今後は実習生に向けての社会人としてのマナーについては十分に伝えていくべきであると考えます。実習生の中には，報告会の配布資料における後輩への伝達事項として「常に児童のお手本として行動するという意識を忘れずに行動することを心がける」ことや「実習校の先生にご指導頂く際は，お忙しい中時間を割いて頂いているということを忘れない」ことを挙げた学生がいた。報告会を，実習に必要な知識・技術のみならず，社会人としてのマナー等も含めて，学生同士が高め合う機会として位置づけていくことが重要である。